

講義の感想

1. 88名中6名とはいえ、数理学科学部生以外の多様な方々(多元(昼夜), 聴講生, 物理学科, 工学部, 工学系研究科, 他大学(多元進学予定))が聴講希望してくれたことが印象的だった。成績は多様だったが、全員合格点であり、数理学科過年度生より成績良好であった。なお、2年生は概ね成績良好であった。
2. 講義に関しては線積分や面積分も過去に習ってきた積分であることを強調して、1年生の数学基礎とのつながりを重視した。実際、学生から、1年の物理学科の類似科目の「ノリ」で理解した気になっている学生が多いと指摘があったので、あやふやな直感的意味を追うよりも堅実に微分積分学に戻ることを強調したのは正しかったと思う。
3. 多元所有のプラニメータを実際に学生諸君に使ってもらった。当日前半の講義の時間に理論を説明して、後半演習時間に皆にやってもらったが、3割くらいの学生が関心を示してくれたらどうか。面白い図形を測ったケースは殆どなかったが、8の字状に測って0になった、おかしい、と言う人がいて、間違っていないことを説明して納得してもらおうなど、熱心な人にはよいきっかけになったと思う。